

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2年 3月 5日

事業所名: 運動療育のきらめき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		<ul style="list-style-type: none"> ・収納できる物は収納して少しでも危険が無いようにしている。 ・日や利用者によってやや狭く感じる時がある。 ・適切なスペースではある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日や利用者によってやや狭く感じる時がある。 ・来所時の平均年齢が高くなると狭いと感じる時があるのでそういった時には屋外活動で十分なスペースを確保致します。
	2	職員の配置数は適切である	6		<ul style="list-style-type: none"> ・子供2人に対してコーチが1人つくようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎スタッフ、添乗スタッフが抜けてしまうと少しの時間、コーチが手薄になってしまう時間がある為、添乗スタッフの入れ替え等工夫して適切な職員配置にしていけます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・マット等を利用している。 ・トイレに段差があるので見守るようにしている。 ・絵カードがあり伝わりやすいと感じる。 ・視覚支援の張り紙をしているが、特性によりそれを剥がしてしまう子がいるため環境配慮が十分でない時がある。 ・利用者様スペースに関しては、特に問題ないと思います。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・使った物は使った人が片付ける、あるいは気づいた人が率先して片付けるようにする。 ・療育終了時に毎日清掃し、お子様が使用する玩具等は定期的にアルコール消毒を行っております。 ・年齢により力の強さの差がみられる時は、力の同じ子をペアにしたり、コーチが間に入ったりしている。 ・空気清浄機の設置。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パイプの棚を登ろうとすることがある⇒その都度コーチが間に入り止めている。 ・天井が高いため、難しい部分もあるが固定する方法を検討中。
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対してスタッフ全員の意見を出し目標設定をし朝礼・終礼や週に1回のカンファレンスで振り返り、改善案を出し合い全体で共有している。 ・業務リストで業務を分担し、業務週報で業務の見える化を行い月1回の全体会議で進捗管理を行う。期限通りにできていないことは原因や解決策を考え対策しています。 ・業務効率化研修を行う。 	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・共有し、改善策を考えている。 ・可及的速やかに対応を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・回収したアンケートをスタッフ全員に共有し、改善案をスタッフ全員で考え改善につなげております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		・ホームページにて公開	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		第三者による外部評価はまだできていません。今年、未来創造企業の認定を受けるべく研修に参加しております。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の費用を負担してくれたり、研修の機会の提供があつて研修に行きやすい環境がある。 ・木鶏会や、ミーティング、社内研修がある。 ・研修に行ったスタッフが内容を全体に共有してくれる ・昼食時の意見交換等を定期的に行っている。 ・月1回の全体会議や毎日振り返りをしてスタッフ共有。 	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・週に1回カンファレンスを行い、子どもの現状把握・共有を行っている。 ・見学の際に保護者様からニーズを伺い、契約時にアセスメント用紙をご記入いただき、それを基に支援計画を作成している。 ・半年に一回支援計画見直しの面談を行いお子様の成長に合わせた支援計画の作成が行っております。 	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたアセスメントツールを使用し、いつでも見直せる場所に置いています。 ・社内研修による共通認識を学習している。 ・支援計画外でも子供の対応マニュアルを作成、実施している。(送迎ルール等) 	今後より専門的な目線のツールが必要と感じる。⇒理学療法士のスタッフを採用し特別支援計画の作成を行っています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1	・児童発達ガイドラインに記載されている内容に沿ってお子様一人ひとりのニーズに合わせた目標・支援内容の設定ができております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		・児童発達支援計画を基にその日の活動プログラムを考え、運動だけでなくお子様のニーズに沿って日常生活動作等個別に対応している。。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	・一人では良い運動が思い浮かばない時、スタッフに相談してチームで考えられている。	チームで行う時もありますが、基本その日のリーダーが決めていることが多いため、今後はお昼の時間も活用してチームで考えてまいります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーのローテーションや既存の運動資料を基にしながら、新しい運動メニューを週に1回は考案することで固定化を防いでいる。 ・毎日違うメニューがあり、子どものアイデアもメニューに盛り込んでいる。 ・毎回利用者に合わせた運動を提供 	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・自閉傾向が強く、個別療育希望の子や集団生活をできるようにするなどお子様、保護者様のニーズに合わせて個別活動・集団活動と取り入れた、長期目標と短期目標をたてて児童発達支援計画を作成しております。 	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日朝礼、昼食時に1日の支援計画やその日の注意点、リーダー、お帳面の記入者など役割分担を確認し、時間の都合上参加できていないスタッフにはLINEで共有し、全員が把握できる工夫を行う。 	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日終礼を必ず行い、その日の気づき、注意点、改善点をスタッフで出し合っている。 ・送迎スタッフは参加できないことが多いのでその日のうちにLINEで全体共有している。 	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・メモ等を取り後から振り返り、確認できるようにする。 ・一人ひとりの支援計画に合わせたお帳面の記入 ・異変や良かった点等、日々の様子をお帳面に記録、LINEで全体に共有。 ・朝礼・終礼、金曜日のカンファレンスの内容も記録し保存している。 	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と定期的に面談をしている。 ・モニタリングをする児童をスタッフ全員に共有し、一人の視点からでなく複数の視点からモニタリングを行っている。 	
	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・全員ではないが、一部の児童のサービス担当者会議に参加しています。 	現状、電話でのやり取りが大半ですが、今後必要に応じて管理者、必要な場合は現場スタッフが積極的に参加してまいります。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・エルム大阪からのセミナー情報などがあればお手紙で配布している。 ・関係機関・保育所・幼稚園との情報共有等の連携をしております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より深い関わり方、提携が必要。 ・こども食堂を運営されている方と連携して保護者さんのケアにもあたっていく予定です。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	・送迎時に情報を共有	今後より細かな情報交換を保護者様のご要望によって検討させていただきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3	・送迎時に情報を共有	今後より細かな情報交換を保護者様のご要望によって検討させていただきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	・同じようなデイがどれくらいあるか、調べたいです。 ・他事業所の交流会や講座に参加	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6		・外部とのサッカーチームと合同練習会を開催している。 ・昨年11月には障がいの有無に関わらず誰でも参加できる【みんなの運動会】を開催 ・ワークショップ ・公園でいろんな子との交流あり。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4	・平野の取り組み、また区のHPを見ます。 ・地域のこども食堂さんが主催されているオープンダイアローグ会などに参加	現状は一部のスタッフが参加しておりますが、今後全体での参加も考えております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・お迎えの際に子供の状況を丁寧に伝えている。 ・お帳面や直接会えずとも「文」を通して共有を心がけている ・送迎時にその日の事や課題を保護者様に伝え共有している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1	・ママキラ会という保護者会を不定期的ながら開催し、様々な知識やコミュニティの場を提供。 ・保護者様からご相談があった場合には、普段のお子様の支援方法で効果的な対応をお伝えしています。	・今後定期的に子ども食堂さんとも連携しながら保護者さんが悩みを相談できる場やつながりを作れる場を提供していきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	・契約時に時間をかけて説明。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		・児童発達支援計画を保護者様に配布している。 ・半年に1回の面談を行い説明、同意を得ております。 ・資料に残されている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・お帳面や口頭で質問等あれば、普段の様子をふまえた助言・支援を行っている。 ・必要であれば一定時間取らせていただき、面談という形で対応 ・電話相談に対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談される前に助言できるような定期的なケアが必要と感じる
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	<p>【大丈夫を伝えたい】という成澤俊輔さんの講演会や就労移行支援事業所きよばしさんと共同でお子様クッキング体験をしている間に保護者様に二次障がいや将来の就労に関するお話を開催させていただきました。</p>	<p>開催が不定期な為、今後子ども食堂さんと連携して定期的に保護者様にご相談しやすい環境・コミュニティを創っていくことでより多くの方のお力になりたいと考えております。</p>
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からのご質問があった際にはきらめきだよりに掲載したり、お手紙にしてお渡ししています。 ・LINEで共有されている。 	<p>ご意見に関しましては、スタッフ全員で共有し迅速に対応しておりますが保護者様へのは周知できていないことが原因の部分もあるので掲載場所を検討していきます。</p>
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回きらめきだよりを発行し、活動概要・行事予定・連絡体制を掲載し発信しております。 ・snsやプリント、Googleフォトなどで発信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後より必要な情報を抜粋して提供していきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫で保管している ・お手紙の渡し間違い防止のために名前付きのお手紙ファイルに入れて管理しています。 ・写真を撮っているので、使用後は消すようにしています。 ・フォトNGの子であったり、写真をどこかに掲載する際にはきちんと確認を取っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもカードの名前がフォトに写ってしまっている事への配慮はできていなかったためそこは改善していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・言葉で伝えるだけでなく、視覚支援の絵カードを使い意思の疎通をしています。 	<p>保護者様との意思の疎通・情報伝達に関しましては、直接的なコミュニケーションだけでなくお電話やsns等と複数の手段を提供しております。</p>
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップや1月の餅つきでは地域の高齢者施設の場所をお借りし、共同で開催しました。 ・昨年度は「みんなの運動会」という地域に根ざした行事を企画・実施し地域の方々にもご参加いただきました。 	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルを策定、それを基にスタッフは研修・訓練を行っています。 ・運動する場の換気を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル類は内容量が多いこともあり、ホームページに掲載しております。 ・マスクは時と場合によって必要。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	3	<p>年に1回消防署の方に来ていただき訓練を行っております。</p>	<p>今後定期的に行っていきたいと考えております。</p>

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		・服薬のある場合は保護者の方から連絡を頂き、必ずスタッフ全員で共有。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		アレルギーのある子は保護者様に確認し、クッキングの際は確認もできております。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2	・かがやきでのヒヤリハットを共有した。 ・ヒヤリハット事例があれば記録しています。また、ヒヤリハットほどではない些細なことでLINEでの全体共有を行っております。	・ヒヤリハットを活用して意識を高めたい
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・マニュアル作成だけでなく、管理者が研修に行きスタッフ全員に共有、虐待防止についての理解を深めています。 ・LIGがある目的を理解できる環境である。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて研修でも共有しています。	児童発達支援計画に記載はできていないので、必要あれば記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。